

G KUN W!

Gifu Keizai University

岐阜経済大学マガジン

vol.
89

2015.March

教育の今を伝える



- ② 特集1「新年の抱負」
- ④ 特集2「第42回 ゼミナール大会を密着取材」
- ⑥ 教育最前線
- ⑧ 図書館&9号館 改修へ...
- ⑨ 輝け! アスリートたち
- ⑩ 交流の輪を広げよう
- ⑪ OB紹介「大好きなことを仕事にしよう」
- ⑫ 岐阜県コミュニティ診断士に密着!!
- ⑬ キャンパス彩々
- ⑭ 研究室だより
- ⑮ キャリア支援課だより
- ⑯ お知らせ

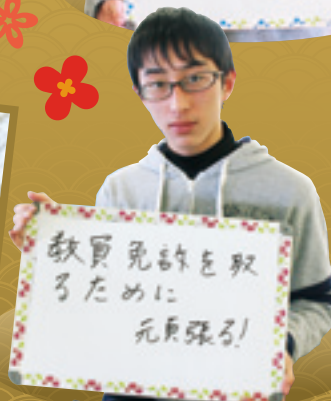
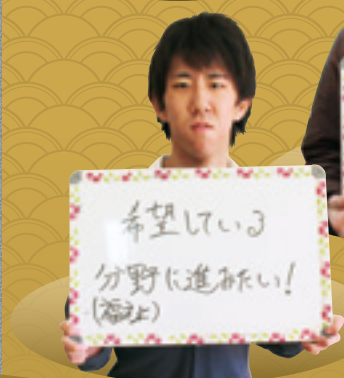
平成27年始動!!



理事長
土屋 嶮

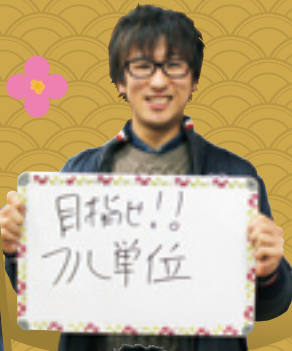
皆様明けましておめでとうございます。

2015年になりました。今年は乙未「きのと ひつじ」年であります。乙未は、字が曲がっている故に見通しがたてにくく、色々な動きがあるなかで一步前に出ることが難しい、と言われます。そういう年だといって最初から何もしないというのは極めてよくない。やはり今、盛んに言われているのは、変化の時、あるいは物事が胎動しようとしている時、チャレンジしなければいけない。一番よくないのは「為さざるの罪」であると思います。何かをして、仮にそれがもし失敗したとしても、それは為すが故のプロセスの上に何か得るものがあるはずで、手をこまねいていたら何も良いものが生まれてこないと思います。当大学においても少子化といった問題等に立ち向かっています。我々としても手を携えて大学の為に何ができるかということについてチャレンジしていく必要があるのではないかと思います。皆さまには、「学生のために何ができるか」「この大学の為に何ができるか」「地域の為に何ができるか」を考えてチャレンジする必要があります。私も一生懸命色々な形でこの大学の為に何ができるかを考え、実行に移す手法を考えていきたいと思ひます。皆様の奮闘を期待して年頭の挨拶とさせていただきます。一緒に頑張りましょう。



特集

新年の抱負



学長 石原 健一

明けましておめでとうございます。

年初から、原油安、EU経済の不安定化、特にギリシャ財政問題が再燃して、世界経済の先行きが不透明な状況です。今後、日本経済が好転したとしても、地方私大の経営にとっては、あまりプラス材料にはならないと考えられます。文部科学省が、経営強化集中支援事業など、地方私立大学に対する支援策を打ち出していますが、ただ、何もしないでも補助金を得ることはできません。我々自らが改革していかないと支援を受けることもできません。皆さんもご存知のように2030年には18歳人口が101万人、31年には99万人に減少すると予測されています。仮にTFR(合計特殊出生率)が反転したとしても、大学への効果が現れてくるのが約20年後ですから、2050年ぐらいまで現在のような厳しい状況が続きます。理事長のご挨拶にあるように、この大学の存続のために、我々自らが努力して改革していかねばいけません。私も改革に努めて参りますので、皆さまのご協力をお願い致します。



年男の教職員



大会を密着取材

3つのゼミをく事前インタビューく

高木ゼミ

大垣の魅力

一ハツラツ市・歴史を中心にー
2年生で唯一のゼミナール大会出場チーム



経済学部公共政策学科2年
黒田翼さんに
インタビュー

唯一の2年生ゼミとして、3年生に負けたくない今後の勉強として挑みたいです。未熟な部分はあると思うので今回の挑戦を来年に活かしたいです。なぜ水の都と呼ばれるのか?水を活かした資源とは?など色々研究しています。お楽しみに!

井戸ゼミ

スゴロクをモチーフにした 大学紹介Webサイトの開発



経営学部情報メディア学科3年
小林慶大さんに
インタビュー

JSPを用いた大学紹介スゴロクゲームの紹介をします。校内案内を説明するのにスゴロクが良いと思い、みんなで開発しました。1位を目指して頑張ります。



大会の様子

意欲的な研究発表で来年が楽しみにになりました。



大会の様子

本番は緊張のためか、ややかたさが見られましたが、全体としては良い発表でした。

大野ゼミ

プロスポーツによる地域活性化 一岐阜県の事例からー

経営学部スポーツ経営学科3年
坂口拓也さんに
インタビュー



大野先生がスポーツ経営の専門家ということもあり、ゼミでは「スポーツ経営の地域におよぼす影響」を研究したいと意見がまとまりました。そこで、岐阜県内のスポーツ経営企業を取材し、スポーツによる地域活性化を学び研究しました。最優秀賞を目指しています!



大会の様子

報告をする学生同士もお互いを助け合う光景が見られ、大野ゼミの絆の強さを再確認できました。



第42回ゼミナール大会が開催されました。

12月3日(水)、第42回ゼミナール大会が開催されました。これは、毎年12月初旬に行われるゼミ(演習)単位での研究発表会で、今年度で42回目を迎える伝統ある行事です。今回は33チームが参加し、大きな盛り上がりを見せました。ゼミごとにテーマを設定して調査・研究を行い、その成果を発表することによって、共通の目標に向け協力し合い、更なる課題に向かつて学習を深める契機となりました。各ゼミからの発表の後、審査員の先生方からの講評もあり、表彰式では5つのゼミが優秀賞に選ばれました。



優秀賞

菊本ゼミC

定住外国人の子ども達が抱えている問題と社会的支援



石坂ゼミA

グローバル企業の節税に関する一考察



大野ゼミII

プロスポーツによる地域活性化—岐阜県の事例から—



中西ゼミIII

消費者情報システムの可能性



岸ゼミB

親はなぜ運動会で転ぶのか—心理的側面からのアプローチ—



講評 高橋 勉 経済学部長



ゼミナール大会の審査員を担当しました。どのゼミの発表も日頃の研究の成果を發揮したすばらしいものだったと思います。「がんばり」の差はほとんどなかったのではないかと思います。「研究発表としてまとまっているか」という点で、順位が決まったのではないかと感じています。

私が担当した会場では、高木ゼミ2年生の発表がありました。専門の勉強を始めてまだ8ヶ月程度しか経っていないのに、とても意欲的な研究に取り組んでいて、たいへん感心しました。「あと、3ヶ月もあれば先輩を追い抜いていたかもしれない」と思わせるくらいすばしかったです。来年のゼミナール大会では1位になるのではないかと期待しています。

3年生の皆さんは、来年度は卒業研究に取り組んでいることでしょう。ゼミナール大会の経験を活かして、今後の研究に取り組んでいただければと思います。



10月2日

(株)十六総合研究所 主任研究員 後藤 康浩氏
「地域金融機関におけるコンサルティング業務への取り組み」について、お話をいただきました。ご自身の体験を交えて地域密着型金融におけるコンサルティング機能について、説明していただきました。



11月20日

(株)大垣共立銀行 人事部調査役 葛西 良久氏
「銀行員に求められるものは何か」「OKBに求められるものは何か」をテーマに、ディスカッション形式の講義が行われました。



10月9日

(株)十六総合研究所 リサーチ&コンサルティング部 部長 古池 正広氏
「地方銀行の国際ビジネス」について、お話をいただきました。国際ビジネスは、情勢や国の特徴などからビジネスチャンスであると、お話をいただきました。



12月4日・11日

大垣信用金庫 専務理事 小川 章氏
信用金庫の課題や日々変化する金融ビジネスについて、お話をいただきました。信用金庫の仕事や金融教育の現状と課題について学びました。



10月16日

(株)十六総合研究所 主席研究員 奥田 真之氏
「地方銀行の位置付けと銀行の役割」について、お話をいただきました。地方銀行の概要や銀行業務の機能について、説明していただきました。



12月18日

大垣信用金庫 見学
本店と新築された歩行町支店を訪問させていただきました。実際の業務に加え、窓口のタッチパネルや全自動貸金庫などの最新設備を見学させていただきました。



11月6日・13日

(株)大垣共立銀行 監査役 平井 啓氏
「大垣共立銀行の理念」について、お話をいただきました。「地域に愛され、親しまれ、信頼される銀行」であり続けるための様々な取り組みについて学びました。



経済学部 佐藤 俊幸 教授

後期開講の地域企業研究Ⅱでは、地域金融機関を研究テーマに、各金融機関で御活躍されている経営幹部の方々などを講師にお招きし、学習しました。十六銀行、大垣共立銀行、大垣信用金庫の順に1金融機関あたり3回シリーズで企業の方々大変熱心に講義をしていただき、地域金融機関の役割の重要性と各金融機関の実際の取り組み、そしてそこで働くことの意義などを教えていただきました。受講生たちは、企業の方々から提供される実社会の話聞くことを通して、普段自分たちが学んでいる事柄の意義に気付くとともに、現実社会の最新の動きに関する生の知識を得ることができました。会社訪問に加え、経営幹部の方々直接質問させていただくコーナーがあるなど充実したメニューで、受講生たちに大変好評でした。こうした企業人育成コースの授業を通して、自分たちが大きく力をつけていることを受講生自らが実感しているようでした。

経済学部経済学科3年 松田 亮祐 さん

地域企業研究Ⅱでは金融機関3社からお話を伺いました。ひと口に金融業界といっても銀行から見る経営戦略と信用金庫から見る経営戦略とは全くの別ものであり存在意義が異なってきます。ただ、地域密着経営や地域経済を支える役割は地域金融機関の使命ともいえ、各々がその使命に基づくお客様目線のサービスを追求されていました。本コース2年という歳月の中で12社からお話を伺い企業研究に打ち込んできましたが、一番身についたことは「働く覚悟」だと思います。直接企業の変遷や実情を聞いたことが良い刺激になり自分自身の将来像がみえてきました。この覚悟をバネに3月からの就活へ自信を持って挑みたいと思います。



本学OBの川村博さんと懇談しました。

12月18日(木)、企業人育成コース「地域企業研究Ⅱ」の授業において、大垣信用金庫の金融サービス業務を見学しました。後半の時間で、個別懇談の機会をいただきました。



川村 博さん

経営学部 経営情報学科(現 情報メディア学科)
2010年3月卒業
大垣信用金庫 渉外担当

安吉 営業の仕事は大変ですか？

川村氏 大変ではないと言えば嘘になりますが、それ以上に達成感を感じられる仕事だと思っています。バランスをもって仕事をするのが自分を保つ秘訣だと思います。

村田 営業の仕事内容について教えてください。

川村氏 今の時期ですと、定期預金や住宅ローンの営業ですね。私は、毎月1回は同じお宅を訪問することを心掛けています。1ヶ月に300件、年に12回行けば必ず何かを得ます。例えば、毎月訪問先でたわいもない話をするのですが、お客様との雑談の中に相手にピッタリな商品を見つけることができます。営業において大切なことは、お客様に満足していただけるプランを提案することだと思っています。

古川 金融関係の仕事に興味があるのですが、今のうちに勉強しておいたほうが良い資格はありますか？

川村氏 金融業界を目指すなら、FP2級は必要だと思います。当庫では職員全員が必須の資格になっています。私は在学中に取得しました。もちろん就職してからでも取得は可能ですが、時間が限られていますので在学中に勉強すると良いかと思っています。

安吉 どうして大垣信用金庫を選ばれたのですか？

川村氏 私の場合ですが、人事の方がOBだったことや、面接を通して尊敬できる方に出会ったことに、一番影響を受けました。ご縁を感じることも大切だと思います。

近藤 これからの就職活動のアドバイスをいただきたいです。

川村氏 1つに絞らずに色々な業種・職種を受けたほうが良いと思います。ガイダンスに積極的に参加して自分にあう会社を見つけてください。



経済学部経済学科2年 (右側奥から)村田裕哉さん 安吉晋也さん (左側奥から)古川風花さん 近藤晋司さん

図書館 & 9号館 改修へ...

2013年度に続き、今年度も文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が共同で実施する「私立大学等改革総合支援事業」に申請し、「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」で図書館をラーニング commons に、9号館3階9302教室をアクティブラーニングの教室に整備することが採択されました。整備内容は次の通りですが、学生の主体的な学びに関わる様々な環境を整備することができ、学生の学修時間の増加が期待され、また、地域連携ワークスタジオとして学内の教育活動と地域住民の地域振興活動等が密接に関連する教育が展開されることが期待されます。



図書館の整備概要

開学10年の1977年に整備された現在の図書館は、受動的学習環境でした。これは、主体的に学び、グループでまとめ、発表の準備を行うための環境とは言えないものです。全学的に学生のグループ学習の環境は少なく、一部学舎のオープンスペースを活用している状況でした。そこで、今回図書館をラーニング commons として整備し、学生の主体的な学習を支援するための共有スペースとしました。

1階

自校教育のスペース

本学の歴史年表を設置し、本学と関わりの深い大垣市や周辺自治体、理事企業の資料を展示し本学の歴史を学ぶフロア

▶ 2階・アクティブスペース



2階

アクティブラーニングのスペース

グループワークのためのスペースを確保。可動式の机、椅子、ホワイトボード、プロジェクター、タブレット端末を整備し、グループワークを支援し、学生の主体的、かつグループでの学修活動を支援するフロア

▶ 3階・学習スペース



3階

懇談と学びのスペース

入口付近に書棚で仕切られた1/4円状の女子専用の談話コーナーを設置し、女子学生同士、女性教職員との懇談等のスペースとして整備。現在のビデオ室など3部屋に、プロジェクター等を設置し、ゼミ室として整備。

▶ 3階・女子専用談話コーナー



9302教室の整備概要

教室には6人で利用する7つのテーブルが設置され、テーブルごとに、入力用PC1台、動作確認用タブレット端末2台、グループ討議用インタラクティブプロジェクター並びにスクリーン1式がそれぞれ用意されています。データは、Abookというオーサリング型コンテンツ作成ソフトを利用し、そのフォーマットに掲載する地域紹介のコンテンツを、学生が調査・研究し、発表します。この環境はビジネスプレゼンテーションでの利用を手始めに、各種の演習や実習等で活用され、学生は主体的に調査し、魅力的に発表するというアクティブな学習スタイルを、初歩から学ぶことができるといったメリットがあります。



輝け! アスリートたち

陸上競技場 リニューアルオープン!

本学陸上競技場は、2003年に全天候型陸上競技場に整備し、強化指定クラブである陸上競技部のホームグラウンドとして正課・課外活動に利用されてきました。また、2007年に(公財)日本陸上競技連盟第4種公認陸上競技場として再整備してからは、毎年、記録会を開催し、岐阜県内を中心とする中高生や大学生・一般の公式記録を計測する競技場として、地域にも開放してきました。近年は、競技場舗装路の劣化や路盤の不整などが生じ、毎年のように部分補修を行ってきましたが、陸上競技部と駅伝部の更なる活躍をバックアップするため、昨年9月に全面改修を行い10月13日にリニューアルオープンセレモニーを開催しました。



陸上競技部 主将 **東 魁輝**さん (経営学部スポーツ経営学科3年)

この度は、土屋理事長様、石原学長様を始め、関係者の皆様のお力添えによって12年ぶりにグラウンド全面改修工事をしていただき、ありがとうございます。

私たち陸上競技部・駅伝部一同はこの素晴らしいグラウンドにおいて、部活動ができることを感謝し、日本一のチーム作りを目指し、日々トレーニングに励み、より一層努力していきます。また、この新しい環境を原点として育った選手が世界大会やユニバーシアード大会出場、その先の2020年の東京オリンピックに出場していければと思っています。

今後ともご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2014年度

下半期の主な課外活動成績!!

<女子バレーボール部>

平成26年度 第138回東海大学女子バレーボールリーグ戦秋季大会
2部 3位(5勝2敗)

☆個人賞 ブロック賞

和途 綾香さん(経営学部スポーツ経営学科4年 東海大学付属第三高校出身)

第61回秩父宮妃賜杯 全日本バレーボール大学女子選手権大会
(全日本インカレ)

【決勝トーナメント】

<1回戦> 岐阜経済大学 2-0 武蔵丘短期大学

<2回戦> 岐阜経済大学 0-2 福岡大学

<駅伝部>

11月2日(日)

秩父宮賜杯 第46回全日本大学駅伝対校選手権大会

東海学生連選抜

安田 翔一さん(経営学部スポーツ経営学科2年 豊橋南高校出身) 36' 30 17位

※選抜選手8名のうち1番の記録

12月7日(日)

第76回 東海学生駅伝対校選手権大会

3時間23分30秒 3位

横山 颯大さん(経営学部スポーツ経営学科2年 土岐商業高校出身)

大垣 皓暉さん(経済学部公共政策学科2年 富山商業高校出身)

島袋 匠さん(経営学部スポーツ経営学科2年 北山高校出身)

安田 翔一さん(経営学部スポーツ経営学科2年 豊橋南高校出身)

小藤 友裕さん(経営学部情報メディア学科2年 市立岐阜商業高校出身)

上野 立貴さん(経営学部スポーツ経営学科2年 益田清風高校出身)

杉本 智紀さん(経営学部スポーツ経営学科2年 愛知黎明高校出身)

<サッカー部>

東海学生リーグ2部 12勝3敗3分 総合3位

東海学生リーグ入れ替え戦

第1戦 岐阜経済大学 2-1 名古屋大学(1部9位)

第2戦 岐阜経済大学 4-5 名古屋大学

※**アウェーゴール数で名古屋大学を上回り1年ぶりに1部復帰**

<陸上競技部>

2014年10月に行われた東海学生陸上競技連盟国際交流事業の「台湾遠征」に、年間を通して好成績を収めた本学の4名が派遣選手として選出されました。

遠征日程:2015年3月25日(水)出国~3月30日(月)帰国

大会日程:2015年3月27日(金)、28日(土)、29日(日)

場 所:台湾台北市

400m 東 魁輝さん(経営学部スポーツ経営学科3年 伊勢工業高校出身)

800m 城代 拓馬さん(経営学部スポーツ経営学科2年 搭南高校出身)

走幅跳 宋喜 匠海さん(経営学部スポーツ経営学科1年 いなべ総合学園高校出身)

<駅伝部>

1500m 堀 晃輔さん(経営学部スポーツ経営学科1年 市立岐阜商業高校出身)



松原瑞貴さん(経営学部スポーツ経営学科4年名城大学附属高校出身)が「日本学生陸上競技個人選手権大会男子走幅跳優勝」を称えて、**岐阜県文化・スポーツ功績賞**を受賞いたしました。

交流の輪を広げよう

An exchange student's introduction 交換留学生の紹介



ジョ カギ
徐 嘉儀さん
〈江西師範大学〉

日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか？

子供の頃アニメやドラマで日本という国を知り、日本の文化にとっても興味を持ち、どうしても自分の目で見てみたいと思いました。その夢を叶えるために、留学を決めました。

岐阜経済大学に対する印象を教えてください。

キャンパスは緑に囲まれて、とても環境が良いと思います。先生方はとても親切でいろいろ助けてくださいます。様々な専門の先生がいらっしゃるの、いろいろな文化を教えてください。

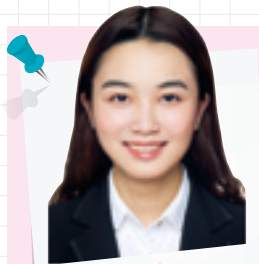
中国の大学の特徴、日本の大学との違いを教えてください。

- ①中国の大学生はみんな大学の寮に住んでいます。学期の初めから終わりまで、キャンパス中はずっと賑やかです。キャンパスもそのため大きいです。
- ②中国の大学と違って、日本の大学はゼミがあります。普通の授業と違って、学生たちが自分の資料で授業をしたり、発表したり、主体的な授業がとても良いと思います。



岐阜経済大学でやりたいことは何ですか？

- ①しっかり勉強して、専門知識を身につけたいと思います。
- ②日本語をもっと話せるようになりたいと思います。
- ③日本で就職したいので、自分自身を磨いて、大学を通して素敵な仕事に就きたいと思います。
- ④日本人の友達を沢山作って、皆と仲良くなりたいです。



チョウ キンタウ
張 欣達さん
〈上海財経大学〉

日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか？

中学校からずっと日本語を勉強してきました。教科書だけでは、もの足りなくなり、もっと日本のことを知りたいと思い、チャンスがあればぜひ日本に行きたいと思っていました。

岐阜経済大学に対する印象を教えてください。

先生方は大変親切で、来た時は何もわからなかったのですが、いろいろと助けていただきました。特に図書館が素晴らしいと思います、いろいろと勉強になる本が揃っています。



キョク シンメイ
曲 振銘さん
〈上海財経大学〉

日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか？

小さい頃から日本のアニメに興味を持っていました。小学校の時、日本に住んでいる友人から、日本のことを色々聞いて、更に日本に憧れを抱くようになりました。中学校に進む時、外国語学校に進学し、中学校一年生のときから日本語を勉強し始めましたが、やはり日本に一度行かないと正しい日本語を学べないと気づき、交換留学生としての留学を決めました。

岐阜経済大学に対する印象を教えてください。

経済学をはじめとする社会科学の体系的及び実践的な教育を行っている岐阜経済大学には、勉強するために必要な設備・施設が揃っています。先生も学生も親切な方が多く、何か問題が起こった時も、窓口の方(学生課と教務課の職員)に相談して解決することができます。

中国の大学の特徴、日本の大学との違いを教えてください。

私の考えでは、日本の大学と中国の大学では、施設のの違いはないと思います。しかし授業の仕方には少し違いがあると思います。中国の大学は日本の大学より学生の成績と試験を重視しています。一方で、日本の大学は学生の学力以外の部分(人間性など)も重視していると思います。この教育方針の違いが日本の大学と中国の大学それぞれの長所だと思います。



岐阜経済大学でやりたいことは何ですか？

短期留学生として、私はこの一年間、一生懸命勉強に励みたいと思います。岐阜経済大学で経済を専攻して、今まで培った知識を活かして頑張ります。日本は中国の近隣で、日中両国の経済貿易が非常に深い関係です。岐阜経済大学で勉強して、比較研究を通して両国のそれぞれ経済面での優れているところを身につけたいと思います。

中国の大学の特徴、日本の大学との違いを教えてください。

日本の大学は中国の大学よりも詳しい内容を勉強すると思います。黒板に書く字の色も内容によって違って、工夫された授業をして下さり、面白いです。中国の大学は、勉強は学生本人に頼って、先生との交流は少ないです。日本の大学では、先生はとてもフレンドリーで学生とコミュニケーションをとりながら授業され、とても印象深いです。

岐阜経済大学でやりたいことは何ですか？

図書館をよく利用したいです。次に、選択科目の中から勉強したい科目を選んで勉強します。日本の大学生生活を楽しみながら、たくさん友達を作り、これから進む道を考えたいです。

OB紹介

大好きなことを仕事にしよう



岐阜県立大垣商業高等学校
情報科教諭 弓道部顧問
大野 宏 さん
経済学部 経済学科 1987年3月 卒業

職場・仕事内容

高等学校教諭として、元気な高校生と楽しく充実した毎日を送っています。岐阜県の商業科教諭として採用後、商業高等学校、総合学科設置高等学校を経て、現在は大垣商業高等学校に勤務、専門教科情報を担当しています。

今の仕事をするために努力したこと

社会科での採用が厳しく商業科免許申請に必要な科目単位を修得するのが想像以上に大変でした。

普通科高等学校出身で商業高等学校の雰囲気や授業内容を理解できていないため、毎日の教材研究と授業展開の工夫に明け暮れました。

いまから考えれば、無茶苦茶な授業もしていたと思いますが経験が無いからこそ従来の型に囚われないでオリジナルな展開も考えながらできた気がします。

総合学科の学校や現在の専門教科情報のように新しい環境の学校へ異動した場合も、自分が何故ここへ来たのか、何をすべきかを考えながら仕事をしてきました。

応援メッセージ

岐経大生に4年間で身につけてもらいたいこと

社会で大切なことはお互いを認め合える「多様性」と「利他の精神」だと思います。岐阜経済大学に軸足を寄せながら、大垣市、岐阜県、日本国内、世界中へと「人間関係」を広げて、人の心に響くいい味をもった人間に成長してもらいたいと思います。

私にとって岐経大とは

「自信の無い弱な少年に、夢を描く楽しさを教えてくれた場所」それが岐阜経済大学。大学在学中も卒業後も、教職課程で学んだ仲間や私達に関わる教職員皆さんの存在

がいつも近く感じられました。時には家族のように、兄弟のように叱咤激励してくれたことは、現在も私の中の原動力になっています。

全国から集い語らい、志のある大人になる環境がここにありま。

これを読んでくれた高校生の皆さん!岐経経済大学に夢を描きに来ないかい?



野球クラブ工房 BIG Wednesday
代表・クラブクラフトマン
宮川 涼 さん
経営学部 スポーツ経営学科 2010年3月 卒業

職場・仕事内容

- ・野球用グラブ製造
- ・オリジナルブランド「RAG de Lion」完全オーダーメイドグラブの制作
- ・大手メーカーグラブの製造
- ・オリジナルブランドグラブ販売
- ・グラブの設計・デザイン
- ・グラブの修理・型付け加工
- ・グラブのお手入れの指導



今の仕事をするために努力したこと

大学卒業後に今の仕事に就いていますが、大学に入学してから常に「グラブ職人になるための、4年間にする」という意識を持って生活していました。スポーツ店でアルバイトをしたり、野球関連のセミナーなど、同世代でグラブ職人を目指している人の中で誰にも負けないように出来る限りの準備をしてきました。また、たくさんの方々に出会い、夢を言葉で伝えることで応援して頂き、最短で夢を叶えることが出来ました。

応援メッセージ

今、夢を持っている人、持っていない人もいますが、大学生活はとにかくいろいろなことにチャレンジすることを大切にしてください。海外へ行く、資格を取る、何でもいいです。そうすることで視野が広がり、固定観念が崩れ、もしかしたら夢が見つかるかもしれません。学生時代は失敗を恐れずチャレンジして下さい。1人でも多くの方が大好きな仕事が出来るとを楽しみにしています。



株式会社 量子情報 代表取締役
平田 美歩 さん
経営学部 経営情報学科
(現 情報メディア学科)
2010年3月 卒業

職場・仕事内容

岐阜経済大学ソフトピア共同研究室を卒業後、大学発ベンチャー企業を設立し、企業経営を行っています。研究室で培ったノウハウを活かした革新的なシステム開発や、地域へのIT導入支援等を行っています。



今の仕事をするために努力したこと

私は、自分の思い描く夢や、企業像をたくさん紙に書きました。そして、それを実行するために、今自分は何かができるのか、今何を実行するべきかを自分に問いかけ、行動をしました。そして時には、先輩や先生に自分の夢や行動した結果を聞いていただくことで、自分自身を分析し、次へのステップアップを行いました。

応援メッセージ

社会人になると、様々な年齢や立場の方とコミュニケーションをとりながらビジネスをすることが多いです。そのため、大学時代にサークルやボランティアなどへ参加をして、あらゆる場面で多くの人とコミュニケーションすることが重要だと思います。大学生生活という有限の時間を大切に楽しく頑張ってください。

岐阜県コミュニティ診断士 に密着!!



11月25日(火)、本学にて「岐阜県コミュニティ診断士認定証授与式」が開催されました。

「岐阜県コミュニティ診断士」は、岐阜県と本学とが共同認証する資格で、授与式には、岐阜県コミュニティ診断士として認証された29名(本学学生6名を含む)中22名が出席し、宗宮正典岐阜県環境生活部長、石原健一学長より認定証が授与されました。

出席者を代表して、本学経済学部公共政策学科2年の川戸口晃平さんが決意表明を述べました。



経済学部 菊本 舞 准教授

岐阜県コミュニティ診断士に合格された皆さん、おめでとうございます。人口減少社会を迎えた中で、地域では今後ますます生活を取り巻く様々な課題が山積してくると同時に、住民ひとりひとりが大切にされ、いきいきと暮らせる地域づくりが必要になります。地域づくりには、地域で課題となっていることは何か、冷静に見極め整理・分析することが大切です。そして冷静さの一方で、その解決には、人びとの暮らしを如何に支え維持していけるかという温かな視点が重要になります。地域の歴史や風土、慣習に基づいて暮らす人びとと、共に考え行動しながら、大いに活躍して下さることを期待しています。



経済学部 公共政策学科 2年 川戸口 晃平さん

私が住む地域は過疎地域であり、地域コミュニティの衰退や少子高齢化問題など様々な問題を抱えています。そこで将来は地元の役場に就職し、少しでも問題解決が出来るよう貢献したいと思っています。そのために大学でまちづくりについて勉強・活動していますが、今回取得した岐阜県コミュニティ診断士という資格は地域を構成する地方自治体・地域住民・企業など様々な人が互いに手を取り合ってまちづくりをしていけるように橋渡しをする存在として地域を分析し、解決へ向けて考えていくというものです。

私はこの資格を活用し、様々な活動に参加してまちづくりのノウハウを身につけて、将来は、問題解決の為に役立てていきたいと思っています。



経済学部 経済学科 1年 小川 拓馬さん

この資格を取得する過程の中で、私はフィールドワークを行うことの重要さを強く感じました。ネットや本などからの情報ではなく、実際に自分の目で見ることにより、初めて気づく事があるということを知りました。したがって、これからの活動には何よりもまず自分の目で現状を見ることを大切にしていきたいと思っています。また、一緒に受験した社会人の方々から就職活動に関してのアドバイスなどをいただきました。1年次から就職に関する話を実際に働いてるの方々から聴く貴重な機会が得られたことに本当に感謝しています。この講座で学んだことを、今後の大学生活、就職活動にも生かしていきたいと思っています。



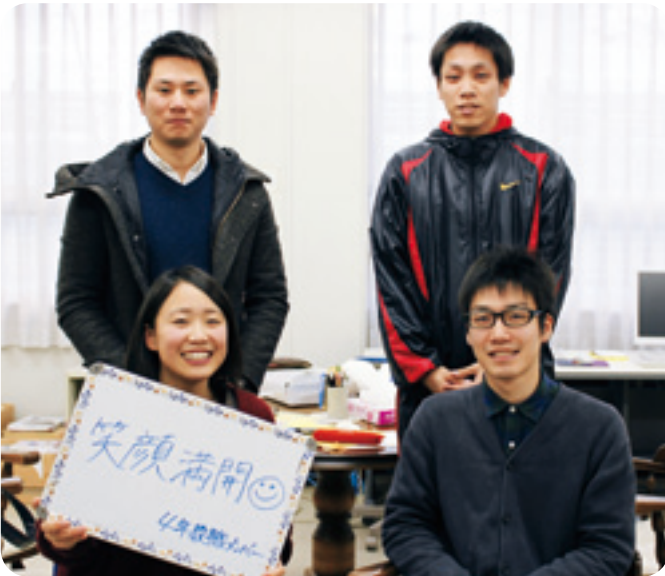
岐阜県コミュニティ診断士とは?

岐阜経済大学では、岐阜県と連携して、地域コミュニティの形成のために住民の側から地域の課題を発見し、解決していく取り組みを支援する専門的な人材を養成するため、2002年度に創設し、以降、2013年度までに255名の方を認定しています。

岐阜県コミュニティ診断士の資格を取得するには、岐阜経済大学で実施する「NPOコミュニティ論」を修了し、その後行われる講義、実習、筆記試験に合格する必要があります。

来年度の募集につきましては、詳細が確定しましたら大学ホームページ上でご案内いたします。

お問い合わせ 教務課 TEL:0584-77-3516 FAX:0584-77-3517 kyoumu@gifu-keizai.ac.jp



経営学部スポーツ経営学科4年

西村 麻衣さん(前列左)

滋賀県 中学校・高等学校(保健体育)の教員

Q.教師を目指そうと思ったきっかけは?

中学校の時の先生の影響を受けて、自分も困っている生徒を支えられる存在になりたいと思ったからです。体育が好きで、スポーツの素晴らしさも伝えられたらと保健体育の教員の道を選びました。

Q.学生生活の中でどのように勉強したのですか?

PAC支援室を利用しました。先輩から話を聞いたり、関連雑誌を読んだりして情報収集に力をいれました。勉強は、とにかく効率を考え、的を絞った勉強を行いました。

Q.どんな教師になりたいですか?

魅力ある授業をしたいです。いつも生徒の傍にいて力になれる教師になりたいです。

Q.後輩へのメッセージ

生徒を思う気持ちがないと教師にはなれないと思います。最後まで地道に頑張ることが大切だと思います。

経営学部情報メディア学科4年

吉村 昌紘さん(前列右)

福井県 高等学校(商業)の教員

Q.教師を目指そうと思ったきっかけは?

私は、商業高校出身なのですが、高校の簿記の先生がインパクトある面白い授業をしていて、お陰で簿記をととても楽しく学ぶことができました。先生のように分かりやすい指導のできる教師になりたいと思ったのがきっかけです。

Q.学生生活の中でどのように勉強したのですか?

ポイントを絞って勉強しました。商業高校での勉強、更に岐阜経済大学で4年間をかけて専門の勉強ができたことが良かったと思います。

Q.どんな教師になりたいですか?

生徒の進路指導に携わることができたらと思います。

Q.後輩へのメッセージ

3年生からすぐに教員採用試験の勉強を始められるように、大学の単位を早めにとることが大事だと思います。採用試験の専門科目については特に勉強を頑張ってください。先輩にたくさんアドバイスをもらうことも大切だと思います。

PAC支援室からの連絡 8号館1階

PAC支援室では、主に公務員、教員を目指す学生の学習支援を行っています。PAC支援室が開設した2013年度教員採用試験から3年間で卒業生を含め20名が合格、そのうち10名(現役2名含む)は今年度の採用試験で合格を果たしています。

PAC支援室には公務員試験対策専門の教員が常駐しており、平日午後はいつでも学習指導を受けられる体制が整っています。受験勉強にもコツがあります。勉強の仕方が分からないと悩む前に気軽にご相談ください。

また、特に教職課程においては、教員免許を取得するための単位(科目)の取り方が複雑です。学期ごとに教職の単位取得にかかわる履修相談を受け付けています。そのほかにも、教員採用試験の学内模試や面接講座を定期的実施、採用試験に向け全面的にバックアップをしています。

夢の実現のためには、皆さんの不断の努力が必要です。ただし、一人でモチベーションを保ち続けるのは大変困難なことです。PAC支援室をうまく利用してください。きっと皆さんの力になれると思います。



経営学部

石坂 信一郎 教授

会計は、様々な要因、例えば国際会計基準・国際財務報告基準（IFRS）への対応、非財務情報開示の必要性の増大、曖昧になって来ている営利・非営利の境界、非営利組織における会計の重要性の増大等により、大きな変革期を迎えています。そこで、会計基準の国際的収斂とわが国における対応について、財務会計のみならず、税務会計や非営利組織会計等の観点からも考察する事をテーマとして研究しています。

経済社会の発展やグローバル化が進むにつれて、私達を取り巻く諸問題は多様化・複雑化し、コミュニケーションの必要性と困難さが顕著になってきているように思われます。様々な組織におけるコミュニケーションツールとしての会計の重要性は高まっており、会計を通じて、持続可能なより良い社会のあり方を考えることが出来ればと考えています。



PROFILE

1967年に札幌で生まれ、高等学校を卒業するまで札幌に住んでいました。石坂家が北海道に移って4代目となる道産子です。関東で7年間の学生生活を過ごし、その後、北海道の短期大学で19年の間、教育と研究にたずさわっていました。2011年に本学に着任し、翌年に現職となり現在に至ります。家族は、妻、長女（高1）、次女（小5）です。

趣味拝見

最近は時間に乏しく、趣味に手が回りませんが、あえて挙げれば小さな頃から続けているスキーです。北海道にいた時は、スキー部の顧問、北海道学生スキー連盟の会長（よっぽど人がいなかったのですね）、北海道スキー連盟の理事でした。地元のスキー学校では、インストラクター・スキーパトロールとしてスキーに関っていました。大垣に来て、日赤の雪上安全法救助員や救急法救急員のライセンスは流してしまいましたが、全日本スキー連盟の指導員・検定員資格はなんとか継続しています。



日本国際ポスター美術館 7号館



1985年当時、ポスター芸術の価値を見出していない日本美術界の中で、地方都市大垣市から、ポスター芸術の啓蒙ひいては文化振興に役立つと、数名の有志が草の根運動をスタートさせ、1996年に日本初のポスター専門の美術館を開設しました。そして、2006年に特定非営利活動法人（NPO）の認可を受け、2008年3月に岐阜経済大学（7号館）に移転しました。

行政、企業、市民の皆様にご支援をいただき、大学教授、デザイナー、地域の経営者、主婦等、あらゆる人たちの献身的なボランティア活動に支えられ、世界中のアーティストとネットワークを築きながら、現在の収蔵ポスターは、9,700点を超えています。

当館のメインの企画展として、1996年から大垣国際招待ポスター展を隔年で開催し、2002年から毎年夏に全国高校生ポスターコンクールを開催しています。

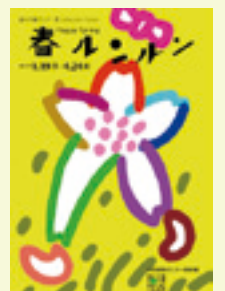
春の常設展示のお知らせ

現在、春の常設展示として、「春ルンルン展」を開催しています。寒い冬が終わり、新しく始まる春の季節に、ウキウキ、ワクワクするポスターを63点ご紹介します。

春ルンルン展

開催期間：1月19日（月）～4月24日（金）
開催時間：10:30～16:00
休館日：土・日・祝日

ポスター専門の美術館は、日本に数える程しかなく、また、ギャラリーや美術館がある経済・経営系大学も全国的に珍しいと思われます。これを機会にポスター芸術にふれ、その魅力を感じていただき、キャンパスの桜並木やハリヨパークと共に、学生の皆さんの癒しの空間（オアシス）になるよう、楽しい展示を行いたいと思っています。



3年生後期キャリア支援行事

就職合宿

第3回目の講座は、12月6日(土)・7日(日)大垣フォーラムホテルで合宿形式にて開催しました。合宿は、35名の学生が参加し、就職特別講座の今枝講師の指導のもと、4年生のチューター5名がサポートし、就職活動の準備について夜遅くまで取り組みました。1日目は、就職活動の基本である自己分析を行い、自分の強みをPRするための、エントリーシート・履歴書の書き方について指導を受けました。2日目は、面接官に自分を売り込むためのコミュニケーションスキルを磨くため、面接とグループディスカッションの指導を受けました。この合宿では履歴書作成と面接対策を短期集中で完結させることができました。3年生から就職活動が後ろ倒しとなり、就職活動の準備について、今、何をしなければいけないか、不安な学生にとって不安が自信に変わる有意義な合宿となりました。



就職特別講座

本学は2016年3月卒業予定者(3年生)を対象とした「就職特別講座」を10月〜3月に開講しています。



	日付	内容
1	10月27日(月)	エントリーシート、履歴書の書き方①
2	11月17日(月)	エントリーシート、履歴書の書き方②
3	12月6日(土)・7日(日) 1泊2日の合宿形式	履歴書の書き方、面接の集中講座
4	12月15日(月)	面接対策①
5	1月5日(月)	面接対策②
6	2月16日(月)	面接対策③
7	2月23日(月)	グループディスカッション対策
8	3月23日(月)	小論文対策①
9	3月30日(月)	小論文対策②

インターンシップ

本学では、実習により職業理解および大学で学んだことを職業として活かすことを目的としてインターンシップを実施しています。大学と産業界がキャリア教育で連携するインターンシップ実習に、36名が28社で実習を行いました。

2014年度インターンシップ
実習先一覧(順不同)

- アピタ大垣店
- 株岩田レーベル
- 株エイチアイ・エス
- 株S・point
- 大垣市役所
- 株大垣共立銀行
- 大垣信用金庫
- 株岐阜冠婚葬祭互助会
- 岐阜トヨタ自動車(株)
- 株キャリアデザインコム
- 郡上市役所
- 下呂市役所
- 株三交クリエイティブライフ
- 三柏(株)
- 自衛隊
- 篠田種苗
- 株十六銀行
- 西濃運輸(株)
- 東海牛乳(株)
- 豊川信用金庫
- トヨタカローラ岐阜(株)
- 株ナガラ
- 株福井銀行
- 株文彦堂
- 株ベネッセスタイルケア
- 三井住友海上火災保険(株)
- 名港海運(株)
- ヨツハシ(株)

● 2015年3月卒業予定者の主な内定先(順不同)

- 建設・不動産業** 石友ホーム(株)、日管(株)、株レオパレス21
- 製造業** 揖斐川工業(株)、株エヌピーシー、MTK(株)、近江鋳業(株)、カワボウ織維(株)、サンメッセ(株)、タカラスタンダード(株)、田中精密工業(株)、トヨーキッチンアンドリビング(株)、中庸スプリング(株)、日本精工(株)、株ハウテック、フジパングループ本社(株)、本田技研工業(株)、矢橋大理石(株)、ヨツハシ(株)、利高工業(株)
- 情報サービス業** 株エヌワーク、タック(株)、株ピコナレッジ、ムトーアイテックス(株)
- 運輸・郵便業** 西濃運輸(株)、濃飛西濃運輸(株)、佐川急便(株)、日本郵便(株)
- 卸売業** 株アイテック、イワタニ東海株(株)、株扇港電機、田澤電材(株)、中国エアウォーター(株)、株東陽、中西電機工業(株)、濃尾電機(株)、パナソニックコンシューマーマーケティング沖繩(株)、マツモト産業(株)、株ヤマ食、和銅(株)
- 小売業** 株AOKI、株クスリのアオキ、ゲンキー(株)、株コスモネット、株ジェイアイエヌ、株ステップ生活協同組合コープぎふ、トヨタカローラ岐阜(株)、中部三菱自動車販売(株)、東海マツダ販売(株)、株ノジマ、株ハナテン、株バロー、株ビッグモーター、株ヒマラヤ
- 金融業** 株大垣共立銀行、株沖繩銀行、株琉球銀行、観音寺信用金庫、東濃信用金庫、八幡信用金庫、東海東京証券(株)、三縁証券(株)、西村証券(株)、ほけんの窓口グループ(株)、沖縄県農業協同組合、なんと農業協同組合
- サービス業** 株あみやき亭、株イトマンスイミングスクール、グンゼスポーツ(株)、太陽建機レンタル(株)、高見(株)、WBFリゾート沖繩(株)、(社)長野県自動車整備振興会、株新潟アルビレックスランニングクラブ、株ブロンコピリー、リゾートトラスト(株)、(社)杉和会
- 公務員** 滋賀県教員、福井県教員、群馬県警察官、滋賀県警察官、大垣消防組合、白川村役場、南伊勢町役場

